



図書館から こんな本を



Vol.209
2020/7/3
甲南女子中高・図書館

夏の語源は、「暑^{あつ}」。読書は涼しいお部屋で、水分補給を忘れずに



『13歳からの「身になる読書術」』

探し方・読み方がわかる本 今こそ読みたい&教科にも
役立つ200冊』 大居雄一 著 019.12/O



「朝の読書の時間に読む本を探したい」そんな時に、読みたい本を見つけるヒントがたくさん紹介されている。夢中になれる本との出会いは一生の宝といわれる。本書の中から、読みたくなる本がきっと見つかるはず。

『大人気YouTuber“cook kafemaru”の 世界一作りやすいおうちスイーツ』

kafemaru 著 596.6/K



これなら自分にもできそう！と作ってみたいくなるレシピが満載。難しい道具や材料は使わず、だれでも気軽においしいおうちスイーツが食べられる。作り方はもちろん、材料や道具、ラッピングも写真で紹介。お店のようなスフレパンケーキも作れる。

『1日の終わりにこころを震わせる 光の絶景と100の言葉』

西東社編集部 編 159.8/S



「雲の向こうは、いつも青空。—ルイザ・メイ・オルコット」写真とともに綴られた様々な国と時代の人が発した名言の数々。勇気と元気をくれる言葉、絶景とかわいい動物たちの写真に癒される。

『猫語のひみつ』

スザンヌ・シェッツ 著 石田紀子 訳 645.7/S



「ミャオ」「ゴロゴロゴロ」こちらに向けて何か話しているように見える猫。猫語を理解したいと思ったことはないだろうか。音声学者が紐解く猫語の秘密のほか、猫との良い関係の築き方など、猫づくしの一冊。

『桃太郎は盗人なのか？ 「桃太郎」から考える鬼の正体』

倉持よつば 著 388.1/K



桃太郎は善人か悪人か？様々な『桃太郎』を読み比べ、見過ごしてしまいそうな疑問の解明に突き進んだ小学生の倉持よつばさん。その研究成果に目から鱗が落ちる。本書で紹介された『空からのぞいた桃太郎』（影山徹著、P91/K）も図書館にあります。



『一日の会話のすべてを英語にしてみる』

曾根田憲三、上原寿和子 著 837.8/S



起きてから寝るまでの一日に交わす会話を全部英語にして掲載。話しかけ表現、あいづち表現、質問表現に返しの表現、とセットで覚えることができる。毎日の家族や友だちとの会話に英語を取り入れてみてはいかが？

『そうだったのか！ヒトの生物学 知識ゼロからの東大講義』

坪井貴司 著 491/T



私たちの身近にある問題（アレルギーや生活習慣病など）について、著者の東京大学教養学部での講義をベースにわかりやすく解説。文系理系関係なく生命科学に興味のある人がやさしく学べる一冊。

『逆ソクラテス』

伊坂幸太郎 著 913.6/Isa



全5編、すべての主人公が小学生という、著者初の試みの短編集。キーワードは、先入観。小学生たちが、その先入観をひっくり返そうと企む。読み終わると、読んだ人が前向きになれる、希望を感じ取ってもらえる作品となっている。

今月の新着から



■0 総記

『池上彰と現代の名著を読む 東工大・白熱読書教室』
池上彰著 019/I

『まなの本棚』 芦田愛菜著 019.9/A

■1 哲学

『私は私のままで生きることにした』
キム・スヒョン著 159/K

『考える練習をしよう』 マリリン・バーンズ著 141.5/B

■2 歴史

『なぜ歴史を学ぶのか』 リン・ハント著 201/H

『グレタのねがい 地球をまもり未来に生きる』
ヴァレンティナ・キャメリニ著 289.3/T

■3 社会科学

『18歳までに知っておきたい法のはなし』
神坪浩喜著 320/K

『大学生になるってどういうこと? 学習・生活・キャリア形成』
植上一希, 寺崎里水, 藤野真著 377.9/U

■4 自然科学

『地球について知っておくべき100のこと』
竹内薫訳・監修 450/M

■5 技術

『ゆるく身につく家事のきほん』 おそうじペコ監修 590/Y

■6 産業

『単位のキホンがわかる本』
コンデックス情報研究所編著 609/K

■7 芸術

『ものは言いよう』 ヨシタケシンスケ 726.601/Y

■8 言語

『言語化力 言葉にできれば人生は変わる』 三浦崇宏著 809/M

■9 文学

『クスノキの番人』 東野圭吾著 913.6/Higa
『思い出の修理工場』 石井朋彦著 913.6/Ishi
『天使のにもつ』 いとうみく著 913.8/I
『41歳の東大生』 小川和人著 916/O

■文庫・新書

『読解力を身につける』 村上慎一著 081.9/イ/914
『「さみしさ」の力 孤独と自立の心理学』 榎本博明著 081.9/チ/351
『風と共にゆとりぬ』 朝井リョウ著 914.6/ア
『東京百景』 又吉直樹著 914.6/マ

～文学賞受賞作品・ノミネート作品紹介～

芥川賞とは・・・正式名称は「芥川龍之介賞」。
1935年から続く純文学の新人に与えられる賞
のことです。年に2回発表され、過去受賞作品
に、又吉直樹『火花』や村田沙耶香『コンビニ人
間』などが選ばれています。

【芥川賞】
2019年度下半期ノミネート作品
『最高の任務』 乗代雄介著 913.6/Nori



【本屋大賞】

2020年度大賞
『流浪の月』
ノミネート作品

『むかしむかしあるところに、死体がありました。』

『線は、僕を描く』

本屋大賞とは・・・「全国書店員が選んだいちばん
売りたい本」をキャッチコピーに2004年から続く文
学賞です。書店員のみの投票でノミネート作品・
受賞作品が決まるのが特徴で、過去受賞作品に、
恩田陸『蜜蜂と遠雷』や辻村深月『かがみの孤
城』などが選ばれています。

風良ゆう著 913.6/Nagi

青柳碧人著 913.6/Ao

砥上裕将著 913.6/Toga

『72回生からの読書案内』の冊子を作成＆読書案内コーナーを拡大しました！



読書案内では毎年高校3年生から、中学生・高校生に向けてオススの本を紹介しています。今回は今年
の春に卒業された72回生のオスス本を中心にコーナーを作りました。過去にオススされた本と
読書案内の冊子も置いてあるので、「何か本を読みたいけど、何を讀んだらいいかわからない・・・」
「違うジャンルの本も読んでみたい」という方はぜひ参考にしてみてください。